

私たち不二製油グループは、食の素材の可能性を追求し、
食の喜びと健康に貢献します。

第89期 年次報告書

2016.4.1～2017.3.31

FUJI OIL GROUP 2017

 不二製油グループ本社株式会社

FUJI OIL NEWS

新研究所の開所式を実施 ～挑戦と革新を担う「不二サイエンス イノベーションセンター」～

10月18日、当社と不二製油株式会社は、不二サイエンスイノベーションセンターの開所式を実施し、多くの関係者の皆様にご参列いただきました。



大豆の価値を世界に広げるイベント 「Creating Values of Soy in Food」を シンガポールにて開催

不二製油グループのアジア統括会社であるFUJI OIL ASIA PTE. LTD. (以下、フジオイルアジア)は、大豆の価値を世界に広げるイベント「Creating Values of Soy in Food」を同社内アジアR&Dセンターにて開催しました。2015年3月グループ初の海外研究拠点としてフジオイルアジアに開設されたアジアR&Dセンターは、日本の不二サイエンスイノベーションセンター、


つくば研究開発センターと協働し、当社の持つ油脂、製菓・製パン、大豆などの食品素材や開発・生産技術を通して、よりおいしく食べられる製品開発を進めてまいります。

ベルギーにて「ISMケルン国際菓子専門 見本市」に出展

欧州最大規模の菓子専門見本市である「ISMケルン国際菓子専門見本市」に、昨年に引き続き出展いたしました。「健康」がテーマの今回は、低カロリーで砂糖不使用のチョコレートやローシュガーの製品シリーズなどを展示。数多くの新たなお客様にもご来場いただき、好評を博しました。


「2016ジャパン・ケーキショー 東京」に出展

一般財団法人日本洋菓子協会連合会、公益社団法人東京都洋菓子協会主催の「2016ジャパン・ケーキショー東京」が10月11日から13日の3日間、東京都立産業貿易センター台東館にて開催され、不二製油グループも出展いたしました。


世界初の技術で作る、画期的な新食材 「チーズのような豆乳クリーム」 シリーズ新発売

不二製油株式会社は、世界初の食品加工技術USS (Ultra Soy Separation) 製法で作る豆乳発酵食品「大豆舞珠(まめまーじゅ)ぶろっく」、及び「大豆舞珠(まめまーじゅ)mou(ムー)」を業務用に発売いたしました。


「ブレインフード(健脳素材)として の大豆ペプチドの研究開発」が近畿 経済産業局長賞を受賞

健康関連分野の先進的な製品やサービス・取り組みを、各界の有識者がエビデンスに基づいて評価・選出する「健康科学ビジネスセレクションズ」。第3回目となる募集に当社も応募し、入選の運びとなりました。




株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

当期の概況と次期の見通し

当期（第89期）は、油脂部門においてフライ油・製菓用油脂などのパーム油・チョコレート用油脂の拡販に努めるとともに、製菓・製パン素材部門では業務用・冷菓用チョコレートの販売拡大に努めました。また、大豆たん白部門では食肉や加工食品市場向け需要が減少しましたが、健康食品市場向け商品の販売に注力するとともに採算面の改善にも取り組みました。その結果、グループ全体の業績は増収増益となりました。

次期（第90期）の市場環境は、さらなるグロー

固定式の新中期経営計画により、グローバル市場で勝ち残る企業を目指す。

代表取締役社長 清水 洋史

バル化や、AI・IoTの進展を背景に、ライフスタイルや流通システムが大きく変貌を遂げていくと予想されます。このような状況に対応するため、新しいマーケティング手法の導入や経営基盤の整備、設備増強、構造改革を推し進めるなど、従来にない変革に取り組んでいきます。これらの活動により、次期は売上高3,090億円、営業利益200億円と、さらなる増収増益を目指します。

固定式の中期経営計画で「やりきる」

当社グループは、1年おきに計画を見直すローリング方式の中期経営計画で事業を推進してきました。しかし、めまぐるしく変化する世界の市場環境においてさらなる成長を遂げるためには、中期的なビジョンを明確に掲げる固定式の経営計画を策定し、それに向かって改革を確実にやり遂げることが重要であると考えました。また、2030年の「ありたい姿」として掲げている「生活者の健康を支援するグローバル企業」「コア技術の深化により世界／エリアNo.1達成」には、既存事業の延長だけでは到達できないことを強く認識し、軌道修正を図るうえでも、2017年度から2020年度までの4年間を対象とする中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」を策定しました。

本計画では、『おいしさと健康』で顧客と社会に貢献する』『価値づくり（Product Out型からSolution型への転換）を進める』『サステナブルな成長のための自己改革を進める』を基本に、生活者の健康と豊かさ、おいしさを支援するグローバル企業を目指しており、これを達成するため、主に3つの成長戦略を掲げています。1つ目の「コアコンピタンスの強化」では、当社グループの強みであるチョコレート用油脂とチョコレート、製菓・

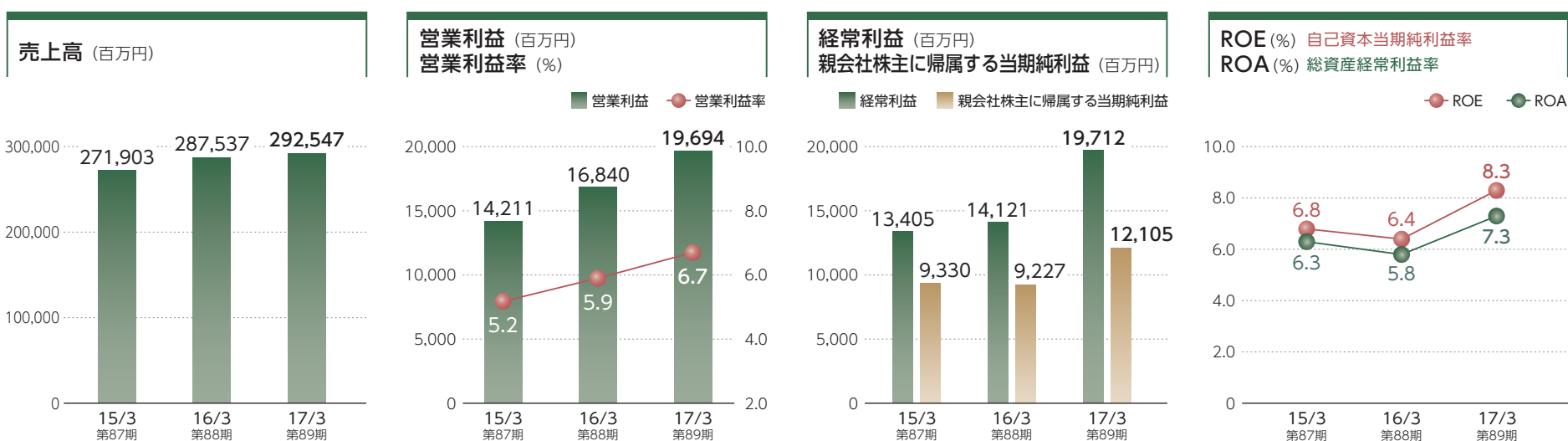
製パン素材事業を発展させるために、次世代に備えた設備更新と生産効率化を進めます。また、日本市場を主軸に中国・北米・ブラジルなどの成長市場でもシェアを高める戦略を推し進めます。2つ目の「大豆事業の成長」では、これまで取り組んできた生産拠点の見直しを含む構造改革の最終仕上げを断行します。そして地球と人の健康につながる“新しくおいしい”USS製法で社会に貢献します。3つ目の「機能性高付加価値事業の展開」では、大豆をはじめとする多糖類や、安定化DHA/EPAに加え、栄養・健康食品の事業展開に力を注ぐ方針です。これらの成長戦略を進めるにあたり、新拠点設立やM&A、アライアンスも模索するとともに、生活者の視点から発想したマーケティングを強化していきます。

また、収益構造改革と経営基盤強化についても引き続き取り組みます。収益構造改革では、グループ全社の生産効率と競争力向上を図るために、COO（Chief Operations Officer）を置き、不二製油（株）の技術開発・生産管理部門と連携した、生産性推進グループを新設し、各エリアの安全・品質・環境面の向上、品質担保を図ります。経営基盤強化では、「グループガバナンスの強化」「ダイバーシティの推進」「健康経営推進」「グローバルスタンダード化への対応」の4つの戦略を推進します。

このような活動により、本計画の最終年度には経営目標 ROE 10%、営業利益成長率 CAGR 6%以上を目指します。また、株主配当につきましては、配当性向30%～40%を基本方針に、安定的かつ継続的な配当を実施していきます。株主の皆様には、今後とも当社グループの事業にご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

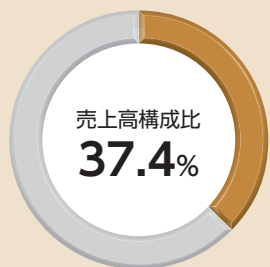


第90期連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
309,000百万円	20,000百万円	19,400百万円	12,500百万円

Highlights By Segments & Areas

セグメント&地域別の概況



売上高 0.5%増 営業利益 0.3%増

国内 国内ではフライ油・製菓用油脂などのパーム油・チョコレート用油脂の販売拡大により売上高は増収となりました。

海外

海外においては、円高により海外グループ会社の円換算額の目減りがありました。米州でパーム油の販売が伸長したことにより、売上高は増収となりました。利益面では、販売が伸長したことやアジア・米州での採算性の向上により増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1,093億61百万円(前期比0.5%増)、セグメント利益(営業利益)は64億17百万円(前期比0.3%増)となりました。

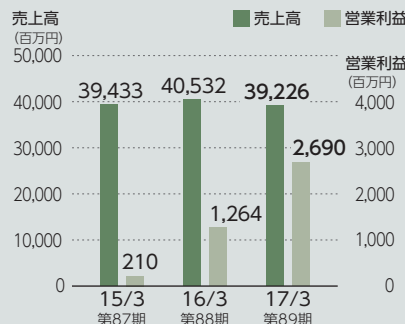
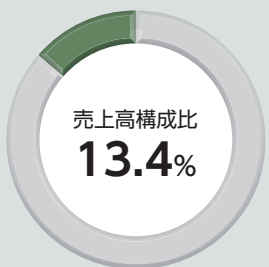


売上高 4.1%増 営業利益 15.3%増

国内 国内市場では業務用チョコレート・冷菓用チョコレートの販売が伸長しました。

海外 中国市場では引き続きフィリング製品の販売が順調に推移しました。また、ブラジル市場においては、前年度に連結子会社したデョコレート製造販売会社であるハラルド社の売上高純増(前年度においてハラルド社の売上高は第3四半期より連結取り込み)や前年度に同社の株式取得費用を計上していたこともあり、増収・増益となりました。

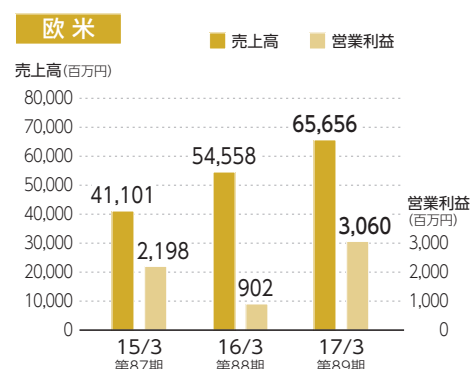
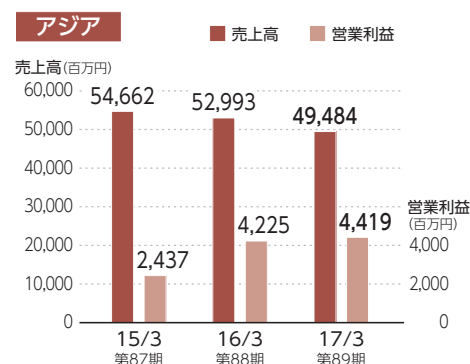
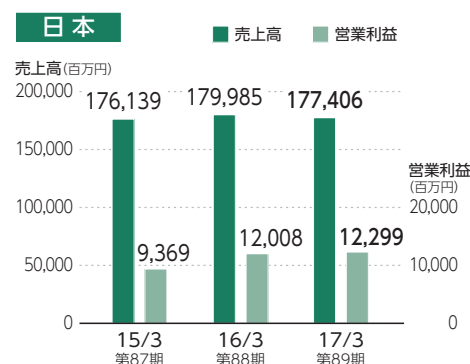
以上の結果、当部門の売上高は1,439億60百万円(前期比4.1%増)、セグメント利益(営業利益)は105億86百万円(前期比15.3%増)となりました。



売上高  3.2%減

大豆たん白素材は、食肉や加工食品市場向けに売上が減少し、厳しい面はありましたが、健康食品市場向けに販売が堅調であったことや、採算面の改善取り組みにより増益となりました。また、大豆たん白食品の即席あげや、大豆たん白機能剤の飲料用途向けの販売が伸びました。但し、当部門全体の売上高につきましては、連結子会社トーラク(株)における小売向けに豆乳販売事業の営業譲渡による売上高の減少要因により、当部門全体は減収となっております。利益面では、事業再構築やコスト削減による採算改善により増益となりました。以上の結果、当部門の売上高は392億26百万円(前期比3.2%減)、セグメント利益(営業利益)は26億90百万円(前期比112.9%増)となりました。

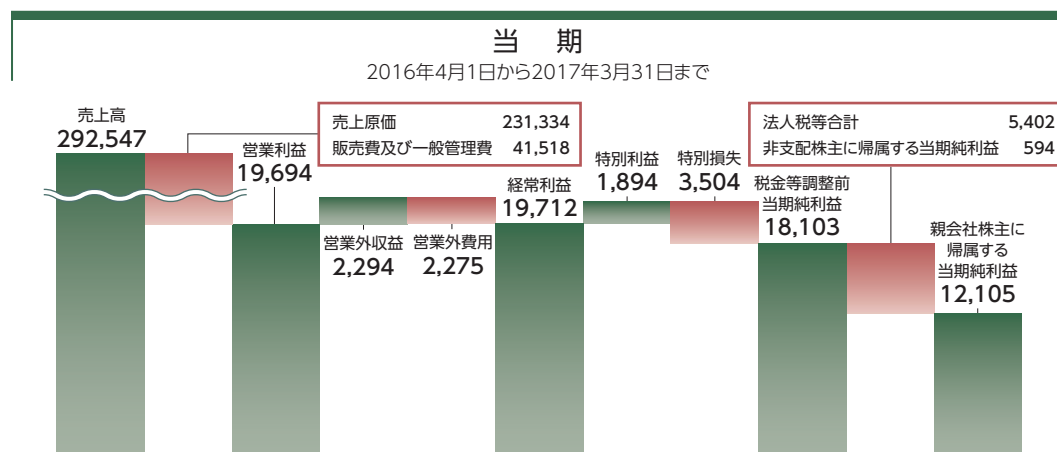
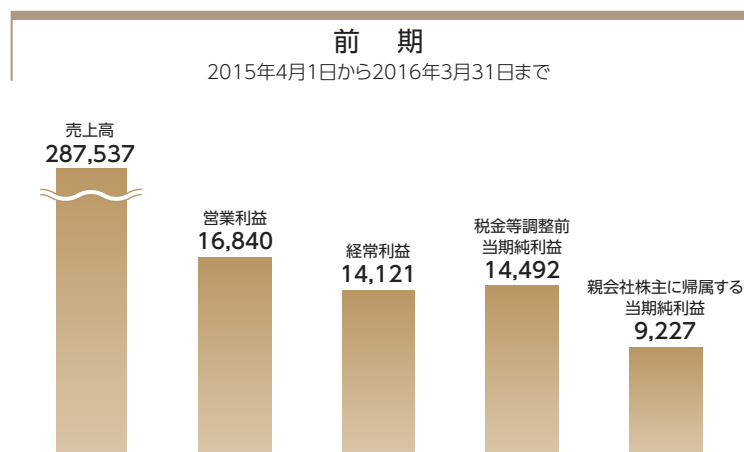
地域別の状況



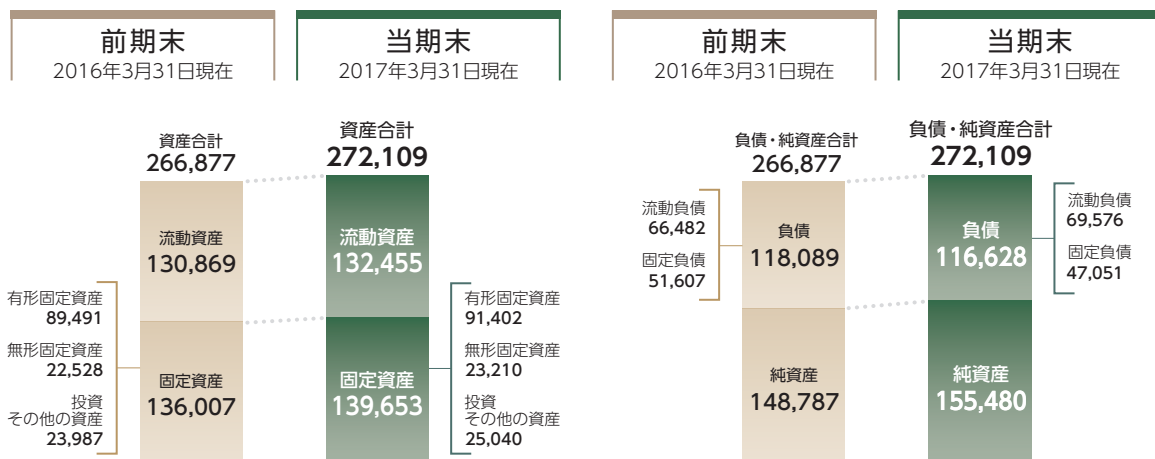
Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

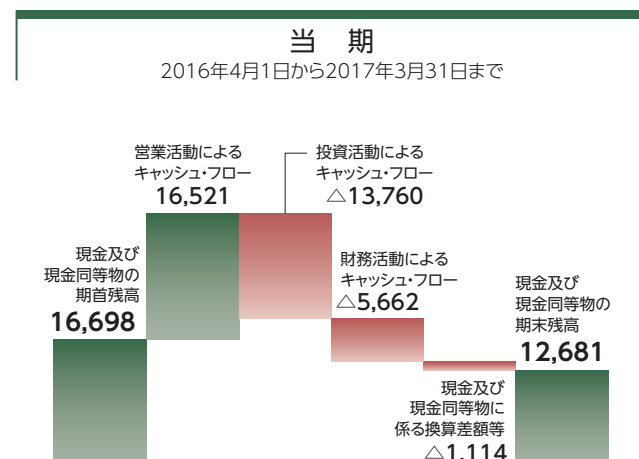
連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Corporate Profile & Stock Information

会社&株式情報

会社概要

(2017年3月31日現在)

設立	1950年(昭和25年) 10月
資本金	13,208百万円
全グループ従業員数	5,056名
不二製油グループ本社従業員数	113名

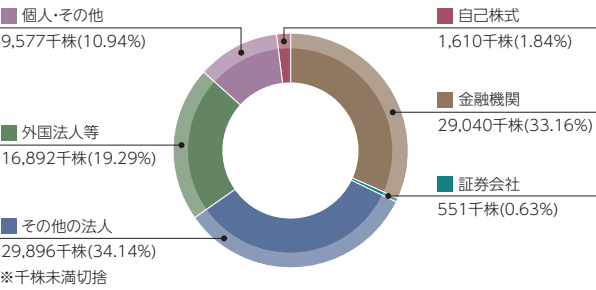
役員

(2017年6月22日現在)

代表取締役社長	清水洋史
取締役常務執行役員	前田裕一
取締役常務執行役員	酒井幹夫
取締役常務執行役員	松本智樹
取締役執行役員	大森達司
取締役執行役員	角谷武彦
社外取締役	三品和広
社外取締役	田路則子
常勤監査役	隈部博史
常勤監査役	澁谷信
社外監査役	松本稔
社外監査役	草尾光一

所有者別株式分布状況

(2017年3月31日現在)



株式に関するご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京
証券コード	2607

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社は、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2607

検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com

主要海外グループ会社

(2017年3月31日現在)

フジオイル アジア^{※1}
フジスペシャリティーズ^{※1}
不二富吉(上海)投資有限公司^{※1}
フジオイル ヨーロッパ^{※2}
フジオイル(シンガポール)
ウッドランド サニーフーズ
パルマジュ エディブル オイル
GCBスペシャリティチョコレート
フジオイル フィリピン
フレイアパディ インドタマ
ムシム マス-フジ
フジオイル(タイランド)
フレイアパディ(タイランド)
3F フジフーズ
フジ ベジタブル オイル
ハラルド
不二製油(張家港)有限公司
吉林不二蛋白有限公司
山東龍藤不二食品有限公司
上海旭洋緑色食品有限公司
天津不二蛋白有限公司
不二富吉(北京)科技有限公司
インターナショナル オイルズ アンド ファッツ

主要国内グループ会社

(2017年3月31日現在)

不二製油 株式会社^{※1}
トーラク 株式会社
フジフレッシュフーズ 株式会社
オーム乳業 株式会社
株式会社 フジサニーフーズ
株式会社 阪南タンクターミナル
千葉ベグオイルタンクターミナル 株式会社
だいずオリジン株式会社

※1 地域統括会社
※2 地域代表会社

証券会社でお取引をされている株主様	
お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更等
留意事項	未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社証券代行部が承ります。
特別口座に記録されている株主様	
お手続き お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈郵便物送付先〉	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
〈電話照会先〉	0120-782-031
〈ホームページ〉	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
お手続き内容	特別口座から一般口座への振替請求、住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会等
特別口座での留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。
【特別口座について】	
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は三井住友信託銀行株式会社に開設された口座(特別口座)に記録されております。特別口座の詳細につきましては、上記三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。	

株主様へのご優待

1.対象となる株主様
毎年3月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様

2.優待品発送時期
毎年11月上旬頃

3.優待品保管期限
転居や不在により、お受け取りいただけなかった優待品は、**11月末日まで**当社で保管しております。再発送のご依頼は、お早めに下記当社株主優待お問い合わせ窓口へ、お申し出ください。
なお、保管期限経過後は再発送のご対応はいたしかねますので、ご了承ください。

4.お問い合わせ先
当社株主優待お問い合わせ窓口
フリーダイヤル 0120-651-563
受付時間 10:00~17:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)

5.優待品内容
ご所有株式数に応じて、以下の優待品を**毎年11月上旬頃**にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ	1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	4,000円相当

株式に関する「マイナンバー制度」について

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

●証券会社でお取引をされている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。

●特別口座に記録されている株主様
左記特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

配当金を「配当金領収証」で受領されている株主様へ
配当金のお受け取り方法には、お受け取り忘れがなく迅速な下記3つの銀行口座等への振込方法もございます。この機会にぜひご検討くださいますよう、お願い申し上げます。
※変更のお手続きに関しましては、お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。少額投資非課税口座(NISA口座)を開設し、非課税の適用を受けるためには、株式数比例配分方式をお選びください。振込先口座に「ゆうちょ銀行」の口座をご指定いただくことができない銘柄もございます。

①株式数比例配分方式
配当金を証券口座で受け取る方法。

②登録配当金受領口座方式
配当金をご指定の単一金融機関口座で受け取る方法。

③個別銘柄指定方式
配当金を銘柄ごとにご指定の金融機関口座で受け取る方法。

※配当金領収証方式の場合は、受領期間内にお受け取りください。(やむを得ず期間が経過してしまった場合は、三井住友信託銀行株式会社証券代行部宛てにお問い合わせください。)
※お支払開始日から会社が定めた期間を経過した配当金につきましては、お受け取りができなくなりますのでご注意ください。